



1. 棒状になるようにそれぞれのパーツを接着し乾燥させる
2.3. 金太郎飴のように均等にカットしていく
4. てんぐの目になる部分に穴を空ける。それぞれ表情が違ったものができる
5. 6. 一つ一つ丁寧にヤスリをかけてなめらかにする。最も時間がかかる根気のいる作業

こだわりのおもちゃ お母さんの喜びを感じて

木育は香りや質感、ぬくもりといった五感を刺激して感性を育むことをはじめ、森林資源の活用や植林推進など木材を循環させるSDGsの理にもなっています。

天狗のデザインを見て「何てかわいいんだ」と思いました。製材から表面を整えるまでの全工程期間は4カ月。太い丸太の節が無い部分を切り出して、なめらかなさわり心地のつみきに仕上げています。工程の中には、寄木造りという伝統工芸

の技術からヒントを得ている部分もあります。製造に関わるスタッフ6人全員が仕上がりをチェックし、1人でも不可を出せば完成品として扱いません。

見た目や安全性にこだわり抜くことはもちろん、作りながらお母さんの喜ぶ顔を浮かべたり、どんな風に遊んでもらえるかと想像を膨らませたりと、どんどんおもちゃに愛着が湧くようになりました。オブジェとして飾っても良いと思います。



沼田製材業協同組合
吉澤良和さん